

## 三岳小学校 最後の運動会 終わる・・・！

9月は、目標の「がまん強くがんばる」の集大成として「三岳小学校最後の運動会」に挑戦しました。今年のスローガンは「全力を出し切り、最後で最高の運動会」でした。6年生を中心とした代表委員会で子どもたちが、言葉にこだわって決定してくれました。言葉から子どもたちの気持ちが伝わってきて、閉校の年にふさわしいスローガンだと、私はとても気に入りました。「全力を出し切る」姿は、人々の心に感動を与えます。そして永遠に残り続けます。そんな最後の運動会になるように、子どもたちも職員も、本当によく頑張ってくれました。暑い2学期のスタート、しかも練習時間は短時間しか確保できない、その上、雨が降ると運動場が使えない日が続く（三岳の運動場はとても水はけが悪いのです）という悪条件の中、創意工夫しながらよく頑張ってくれたなあ、ただただ感謝するばかりです。練習は1回だけという競技もあったぐらいですので、十分でなかった部分も多々あったと思います。しかし、最後のダンスの表現を見ていると、私は長い三岳小の歴史に思いをはせながら、その歴史の重さと子どもたちの躍動する姿が重なって、涙が止まらなくなりました。やっぱり、三岳っ子は素晴らしい。山鹿市教育委員会から、今年度で閉校する三岳小と平小城小のみ特別の許可を得て、2年ぶりに来賓の皆様をご招待することができました。最後の運動会をご覧いただけて、本当によかったと思います。お忙しい中、三岳小学校の運動会にたくさんおいいただき、感謝の気持ちで一杯です。三岳の宝である子どもたちの姿を、心に残していただけたら幸いです。保護者の皆様にも、前日・当日の早朝まで、準備にご協力いただき大変ありがとうございました。子どもたちが確実に成長した三岳小最後の運動会でした。本当にありがとうございました。



## 温かい皆さんに心に支えられている三岳小です

今年の台風では、倒木があったり雨漏りがあったりと、いろいろ被害がありました。その中でも、通学路の被害には随分と悩まされました。3号線の通学路に倒木があり、職員と私でどうしたものかと頭を抱えていたとき、本当に見ず知らずの方が、片側に軽トラを止め、チェーンソーを持って、すぐに駆け寄ってきてくださいました。そして、あっという間に切り終えて、疾風のごとく去って行かれました。朝から仕事に行かれる途中だったようですが、3号線の歩道で難儀している私たちを見かねてさっと手を差し伸べてくださったのでした。一瞬のことで、しっかりとお礼も言えなかったのですが、人の温かさに触れ、なんとも気分の良い1日でした。また、ある時は、小坂の歩道に倒れ込んだ竹を区長様が切ってくださいたり、業者様が上から落ちてきそうな竹を1日ばかりで処理して下さったりということもありました。あまりに業者様が、時間がかかられるので心配で見に行くと、「時間一杯まで、できるだけやりますから。」と・・・。なんだか心がぽかぽかすることばかりで、三岳の子どもたちは、このような善意ある皆様に支えられているのだと、また、改めて感じた出来事でした。

## 津留井手の巫女舞

地域の行事に参加できるのも今年が最後ですので、津留井手祭りで巫女舞を舞わせていただけないかと申し出ましたところ、快く受け入れていただき、下宮で巫女舞を奉納させていただきました。ご指導いただいた吉田さんには感謝の気持ちで一杯です。引率いただいた保護者の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。



※8月の廃品回収収益金は、68,046円でした。アルミ缶代が大きかったようです。活動資金として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

